

福祉わくや

2016.1
第116号



小里小学校「車いす贈呈式」

小里小学校で開催された「わくわく小里まつり」で、涌谷町社会福祉協議会ゆうらいふデイサービスに2台の車いすが寄贈されました。

小里小学校の皆様はじめ多くの方々の「思いやりの心」がひとつの形となった車いすです。大切に使用させていただきます。(関連記事4ページ)

PICK UP!

- ・ 新年のご挨拶
- ・ 「高齢期の食生活と健康長寿」を考えるフォーラム
- ・ 福祉教育出前講座
- ・ ボランティアグループ絵手紙の会「クローバー」にインタビュー!
- ・ おらほのふれあいレポ



新年のご挨拶

会長 小野寺 富雄

あけましておめでとうございます。
ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃から当社会福祉協議会の福祉事業につきまして、深いご理解と格別なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わが国においては、「2025年問題」が人口構成からくる大きな社会問題として提起されています。

それは2025年になりますと団塊の世代が75歳の後期高齢者になり、4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来することが予測されています。

当町におきましても、少子高齢化の時代を迎えて、地域を取り巻く環境は、大きく変容しつつあります。ご承知のように、急速にひとり暮らし世帯や認知症高齢者が増え、地域の中で支え合う機能も薄れがちになりますので、今、その解決策が求められています。

平成27年度は介護保険制度改正

で、介護保険福祉サービスを施設で受けられる人達の基準も引き上げられました。町民の皆様が健康で充実した暮らしができるよう、本会では、昨年度から介護予防「パワーアップ」リーダー養成講座を開催し、運動機能の向上を図ることは勿論ですが、ふれあい・学びあい・支えあいが、仲間づくりの輪を広げて行きたいと思っています。

本年は、涌谷町社会福祉協議会が法人設立して、35周年の節目の年を迎えます。本会の基本理念に「誰もがその人らしく安心して暮らすことができる 地域社会の実現」を掲げておりますので、今こそ、共に生きるまちづくりの精神を発揮し、身近な日々の暮らしの場である地域の中で、生活課題に向き合い、取り組んでいきたいと思えます。

今年も役員一体となって、諸課題解決のため関係機関と連携を図り、活動を展開してまいりますので、皆様方のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

受賞おめでとうございます (敬称略)

▽平成27年度全国社会福祉大会

(11月20日 日比谷公会堂)

〈全国社会福祉協議会会長表彰〉

社協・民間社会福祉団体功勞 (理事) 安部 清彦 (猪岡区)

伊藤 雅一 (脇区)

(評議員) 遠藤 學 (猪岡区)

鈴木 桂子 (黄金区)

(職員) 三塚 さき

永年勤続功勞

▽第61回宮城県社会福祉大会

(11月5日 仙台サンプラザホール)

〈宮城県知事表彰〉

篤志奉仕者 知事褒章 (共同募金奉仕員) 荒 研一郎 (猪岡区)

〈宮城県社会福祉協議会会長表彰〉

社協役職員 功勞表彰 (評議員) 鈴木 秀美 (脇区)

(職員) 高橋 由典

柴 明

〈宮城県共同募金会会長表彰〉

奉仕功勞者 感謝状 (共同募金奉仕員) 熊谷 秀一 (2の1区)

平 義範 (2の2区)

佐藤 浩 (2の3区)

高柳 克己 (3区)

白岩 文夫 (八雲区)

小嶋 初美 (上郡1区)

福田 秀仁 (小里区)

岩崎 喜市 (成沢区)

清水 潔 (太田区)



〈宮城県社会福祉大会の様子〉

「高齢期の食生活と健康長寿」を 考えるフォーラム

考えるフォーラム

10月22日～23日

「高齢期の食生活と健康長寿」を考えるフォーラムを2日間にわたって開催しました。

本フォーラムでは、「低栄養予防」「介護予防・運動機能向上」「福祉コミュニティ」という3つのキーワードを基に、食を楽しみ、人とのつながりを持って自分らしく暮らせる地域づくりについて考える機会としました。



初日は「高齢期の食事」をテーマに料理コンテストを実施しま

した。18点の工夫を凝らしたメニューが出品され、翌日に表彰がされました。出品するという機会を通して、地域の関係者が話し合いの場を持つことで、より良いコミュニティが醸成される機会となりました。



二日目の基調講演では、宮城県大崎保健所長の内みや子氏から、平均寿命と健康寿命の「差」に関する国の統計が提示され、脳血管性疾患が要介護の要因となることや生活習慣病等の予防への取り組みについて説明がされました。さらに、健康寿命増進に先駆

的に取り組む長野県の事例を示され、地域を挙げた健康づくりへの取り組みの必要性について話がされました。

続くシンポジウムでは、町健康課管理栄養士の小野江里子氏、宮城県成人病予防協会の北目衛子氏、下小塚区地域福祉会長の大平あつ子氏が登壇し、東北福祉大学教授の都築光一氏のコーディネートにより、それぞれの視点からの実践や取り組み、問題点について発表されました。



介護予防『パワーアップ』リーダー養成講座閉講式
5月から始まった2期目の『パワーアップ』リーダー養成講座も全12回が修了し、閉講式を行いました。
当日は、受講生39名に修了証書が授与されました。

10月27日

小野寺会長からは、「地域のリーダーとしていろいろな知識を高め、地域への啓発活動と共に高齢になっても、健康で充実した暮らしができるように、仲間の輪を広げて欲しい」とのあいさつがありました。

今回の受講生の中には、すでに各地域で実践されている方もおられます。今後の活躍に期待が高まります。



学校や地域で福祉教育を考えている方は、気軽にご相談ください！



11月19日

感想

盲導犬を必要としている人がいっぱいいることがわかった。



10月29日

感想

点字には、読む方と作る方があった。



11月11日

感想

児童：吾妻さんってすごいね。見えない世界はどのような世界ですか。
吾妻さん：見えないことが当たり前だから暗いことがわからないよ。



11月11日

小里小学校・三年生
「視覚障がい者の生活について」

当事者である吾妻壮氏、金山幸一氏と盲導犬のパスルーが、普段どのように生活を送っているのかというお話とコミュニケーションツールのひとつである点字、盲導犬の役割を紹介していただきました。

月将館小学校・四年生
「視覚、聴覚障がいの理解について」

当事者である吾妻壮氏が、普段どのように生活を送っているのかというお話とコミュニケーションツールのひとつである点字を紹介していただきました。
また、ボランティアアグループ手話の会「ダンボ」の協力を得て、聴覚障がいの理解と手話について紹介していただきました。

小里小学校 永年続く福祉活動！

小里小学校は平成3年に宮城県社会福祉協議会からボランティア活動普及事業協力校として3年間の指定を受けました。環境教育も兼ねて児童会が中心となり地域住民やPTAの協力を得て空き缶回収を行い、その収益金で福祉施設等に車いすを贈る活動を行ってきました。指定後もこの活動が継続され、今年度はゆうらいふに2台の車いすが贈られました。

これまで小里小学校が贈呈を行った車いすは、医療福祉センターや社協・町内の福祉施設などに延べ34台となりました。他にも県立盲学校に点字図書の贈呈も行っています。

永年続く小里小学校の取り組みに敬意と感謝を申し上げます。



ボランティアセンター機能とは？

ボランティアをしたい方、求めている方を繋ぎ、ボランティア活動の支援をします。



5つの機能を紹介します！

相談、登録、支援
登録の受付や活動の相談に応じ、安心して活動できる環境作りを支援します。

広報、情報提供
『社協だより』やホームページ、各窓口でボランティア情報を随時提供します。

連絡、調整、紹介
活動したい方や求めている方の相談に応じ、活動紹介や斡旋を行います。

ボランティア活動保険加入
万一の事故に備え、ボランティア保険への加入を受け付けます。

研修、養成
活動したい方や活動中の方のために、専門知識取得やスキルアップを目指す講座を開催します。

ボランティアグループ絵手紙の会「クローバー」にインタビュー！ (代表 入間田和子さん)

Q1 活動のきっかけは？

人のぬくもりが感じられる絵手紙を通して、地域や施設等におけるボランティア活動を推進できるように、絵手紙養成講座を受講したのがきっかけです。

Q2 いつから活動していますか？

平成19年9月11日からです。

Q3 どんな場面で活動していますか？

ゆうらいふ入居者の誕生日に絵手紙を送ったり、入居者と共に絵手紙を作成しています。また、敬老の日には、町内90歳の方にも絵手紙をプレゼントしています。さらに、各種絵手紙コンテストへの出展も行っています。

Q4 グループ名の由来は？

「私を思って」「幸福」という花言葉を象徴するように、メンバー相互の幸せと連携を図ることを目的に考えたそうです。

Q5 会員は何名ですか？

7名です。

Q6 活動していて嬉しかったことや良かったことを教えてください。

ゆうらいふ入居者と共に作品を創る時、力を合わせて上手に作成できたときはとても嬉しいです。また、会員と和気あいあいと活動出来るのが良いところです。



ボランティア保険をご存知ですか？

ボランティア活動保険とは、日本国内において、ボランティア活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊させたことにより損害賠償問題が生じた場合や、ボランティア活動中の事故によりボランティア本人がけがをした場合の損害を補償する保険です。

— ご加入プラン —

プラン名	Aプラン	Bプラン	Cプラン	天災プラン
年間保険料(1名)	300円	500円	700円	670円

- 保険期間：申込日から平成28年3月31日まで ※年度ごとの申込となります。
- 加入申し込み：保険の詳細や手続きは涌谷町社会福祉協議会にご相談ください。
- 地域のサロン活動やお茶っこ飲み会開催時のためのボランティア行事保険もあります。

安心してボランティア活動をするために、ボランティア保険に加入しましょう！

おらほのふれあいレポ

上谷地区



「お茶っこ飲み会」

10月24日(土)

お茶っこ飲み会の前に、社協職員から介護保険制度改正のポイントを詳しくお話していただきました。参加者からは、「できるだけ介護保険のお世話にならないようにしたい」「上手に利用していきたい」などの声が聞かれました。

その後のお茶っこ飲み会ではストレッチや口の体操、絵本読みを行いました。絵本を参加者各々が工夫して読んでおり、その人らしさが出て笑い声に溢れていました。

「敬老交流会」

11月8日(日)

今回は参加者が少なく残念でしたが、ボランティアグループ「ミラクル手品」の皆様によるマジックショーを見せていただき、楽しませていただきました。

また、地域の看護師さんより血圧測定をしていただき、自分自身の健康チェックを行いました。

最後は、推進員と地域の方々が協力して作ってくれた「おぼろ汁」とお弁当を食べながら談笑し、楽しい一時を過ごしました。

2の2区



「健康確認祭」

11月8日(日)

あいにくの雨の中、町保健師から室内でもできる体操や筋トレが紹介され、みんなでチャレンジしました。「あらあら！これがけっこう難しいのねー！」「長生きするためにはメタボ健診が重要なんだって！」「お腹まわりを測られるのってはずかしわー」などたくさんの方が聞かれました。

その後は、目の前のごちそうをほおばりおしゃべりをし、楽しい時間を過ごすことができました。

成沢区



「お茶っこ飲み会」

11月14日(土)

あいにくの雨ふりでしたが、みなさんご近所を誘い合って集まってくれました。

バルーンアートボランティア「夢ふうせん」のみなさんのユーモアあふれる自己紹介やグーパー体操でのリラックスを行ったあと、いよいよバルーンアート開始！講師の手で一本の細長いゴム風船が形になるのを感じて見惚れてしまいました。

参加者それぞれの作品を褒め合っていました。

その後はティータイムとなり、寒い季節で風邪を引かないよう気をつけて、楽しい時間を終えました。

黄金区



猪岡区



「お茶っこ飲み会」

11月23日(月)

「笑いは健康の秘訣」と題して、お茶っこ飲み会を開催しました。

はじめに、社協職員から「笑いと健康について」の講話をいただきました。その後、グーパー体操や認知症予防の脳トレーニングを行い、体と脳をいっぱい動かしました。

「家にいると話ず機会が少ないし、笑うことも少ない」「近所の地域の人たちと頭と手を使い、とても楽しかった」などの声が聞かれました。

「お茶っこ飲み会」

11月29日(日)

身体を動かすレクリエーションとかるた取りを行いました。

読み手が、かるたに書いてあるなつかしい青春歌や演歌などを歌い、取る形式でした。

読み手は順番に1人ずつ交代しました。取る札がなかなか見つからないとみんなが一緒になって大合唱。見つけたときは、みんなからすごい歓声があがりました。

大変盛り上がり、とても楽しいかるた取りをしました。

9の3区



1区



「先走りクリスマス会」

12月5日(土)

世代間交流の一環として、クリスマス会を開催しました。当日は、子どもから大人まで約40名の参加があり、広い会場がとても狭く感じました。

バルーンアートボランティア「夢ふうせん」の皆さんと真剣に作品を作り、大人たちからは、「とってもむずかしいっ!」「風船を膨らませるだけで、一苦労だ」との声が聞かれましたが、子どもたちにとっては簡単だったようで余裕を持ちながら楽しんでいました。

昼食後は、お楽しみのクリスマスプレゼントが配られました。子どもたちから大人へ、大人から子どもたちへそれぞれ配られ、参加した大人たちは、地域の子どもたちからのプレゼントに大変喜んでいました。

「ミニデイサービス(脳力アップ倶楽部)」 12月6日(日)

当日は22名の参加があり、思い出カルタを使用しながら脳のトレーニングを行いました。

参加者が読み手、取り手に分かれ、昭和の演歌や歌謡曲の書かれたカルタをみんなで歌いながら取りました。

参加者からは、「もっと歌いたかった!」「私を取りたかったのに!」という声が聞かれ、大変盛り上がりしました。

その後は、参加者全員でお楽しみの昼食を食べました。近所の方々と近況を報告し合いながらお互いを気遣う様子が見られ、終始笑顔の絶えない活動となりました。

脇区



～わたしたちは、あなた「ゆう：You（利用者・家族・地域住民）」と共に、あなたの生活「らいふ：Life（人生・生命・生涯）」を大切にします～

ゆうらいふ
社会福祉法人 浦谷町社会福祉協議会

通 信

グループホーム

暖かいものが恋しくなってきた11月20日に居酒屋行事を行いました。

初めての試みでしたが、提灯や大漁旗の飾り付けの中でカラオケ大会を行い、更に割烹着を着たスタッフの姿に皆様大変喜ばれておりました。

お刺身や焼き鳥、白和えなどをつまみながら、ビールや日本酒（ノンアルコール）、梅酒や甘酒を皆で乾杯し、楽しいひとときを過ごしました。



特別養護老人ホーム

12月13日に入居者のご家族をお迎えし、ちょっと早いクリスマス忘年会を行いました。ミニゲームや手作り料理、厨房からの洋食弁当を食べながら話に花を咲かせていました。



地域活動支援センター「歩笑夢」

自然観察で拾ってきたどんぐりの実に赤く色をつけ、松ぼっくりには金や銀の色をつけて、一人ひとりが手作りのクリスマスリースを作りました。

クリスマスの雰囲気が部屋いっぱい広がっており、毎日楽しく活動しています。



ゆうらいふデイサービス

11月11日に芋煮会を行いました。利用者と一緒に大根、人参、白菜などを切っていると、「こうやって切るんだよ～！」と逆にスタッフが教えていただく場面もあり、とても手際よくあっという間に出来上がりました。

早速昼食で芋煮汁を食べ、「とってもおいしいね！」と皆様喜んでいました。



子育て支援事業

「エプロンおばさんと遊ぼう広場」

子育てしている方がお子様と一緒に集える場です。

開催日 毎週木曜日（祝祭日除く）
時間 午前10時から午前11時30分
場所 ゆうらいふ多目的ホール
対象 未就学児と保護者
参加費 無料

予約なしで参加自由・
 出入り自由です！
 ぜひお越しください！

問合せ先 ☎43-6661
 （担当：地域福祉課）



12月10日には、クリスマススペシャルを開催しました！

フードバンク協定事業

今年度から涌谷町社会福祉協議会では、コープ東北サンネット（仙台市）とコープフードバンク協定を締結し、町内の生活困窮など生活上の支援が必要な方や地域福祉事業に食品等の提供（無償）を行う事業を始めました。

この事業は民生委員児童委員と協力しながら行っています。



問合せ先 ☎43-6661（担当：総務企画課）

「地域ふれあい物品」を貸し出します！

今回紹介するのは、「カラーボウリング」です！ピンは立てやすいように、専用のシートが付属されています。また、専用ボールは適度な重量感があり、レクリエーションと運動を兼ね備えた物品となっています！

男女問わず気軽に盛り上がることのできる物品ですので、ぜひご活用ください！



イベント物品	はっぴ、紅白幕、行商用テント、発電機など
レクリエーション物品	輪投げ、スカットボール、お手玉、スモールジムボール、ゲームレール、カラーボウリング、射的 など
その他物品	車いす など

この他にも、様々な物品の貸し出しを行っています。ぜひ、ご活用ください。

問合せ先 ☎43-6661（担当：地域福祉課）

●配食サービス●

町からの受託により、週3回（月・水・金）の夕食をお届けします。

お届けは、地域の方々に構成されている、配食ボランティア協力員の皆さんが行ってくださいます。

- 利用対象者：ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯および調理困難な障がい者等
- 利用料：1食 500円
- 問合せ先：☎43-6661（担当：地域福祉課）



みやぎ地域福祉サポートセンターまもりーぶ



まもりーぶとは、「まもる」と「びりーぶ（信じる）」を組み合わせた造語です。

「まもりーぶ」では、主に在宅で一人暮らしをされている認知症や知的障がい・精神障がい等により判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス利用に伴う日常的な金銭管理面への支援などを行っています。

サービスの内容

- ・福祉サービス利用のお手伝い（情報提供など）
- ・日常的な金銭管理のお手伝い（定期訪問など）
- ・書類等のお預かり

利用契約及び支援計画により、サービスの提供を行います。

利用料金

- ・基本料金 1か月/700円
 - ・サービス料金 30分/500円
 - ・お預かりサービス 1か月/300円
 - ・サービス提供に係る旅費 走行距離数に応じて
- ※サービス料金と旅費は減免になる場合があります。

問合せ先 大崎地域福祉サポートセンター ☎0229-23-7188・涌谷町社会福祉協議会 ☎0229-43-6661

宮城いきいき学園 平成28年4月 入学生募集!

生きがいと健康づくりをめざし、地域活動の指導者として必要な内容を身につけます。

○申込概要

対象：県内居住概ね60歳以上の方

募集人員：各校40名

場所：①仙南校 ②大崎校 ③石巻校 ④気仙沼・本吉校
⑤登米・栗原校 ※通学可能な場所を申し込みください。

学習日：22日(2学年制)

入学金：5,000円

受講料：年間20,000円

募集期間：平成28年2月29日(月)必着

○申込書類入手場所は下記のとおりです。

涌谷町社会福祉協議会、涌谷町福祉課・生涯学習課、

宮城県社会福祉協議会ホームページ

(<http://www.miyagi-sfk.net/>)

問合せ先：宮城県社会福祉協議会

☎022-225-8477 (担当：いきがい健康課)

社協活動知りたいときは、ホームページへアクセス!

涌谷町社会福祉協議会のホームページでは、地域福祉事業や介護保険事業の紹介をしています。また、「地域ふれあい活動記」や「ゆらいふケア日記」、「フェイスブック」も更新中です!

ぜひ、「涌谷町社会福祉協議会ホームページ」をご覧ください!

涌谷町社会福祉協議会

検索

心温まる善意

ありがとうございました

(平成27年10月6日～平成27年12月16日まで)

寄付金

●上郡1区 杉崎 啓志 様	10,000円
●美里町 鈴木 健一 様	30,000円
●石巻市 平塚 釦郎 様	10,000円
●仙台市 内海 すえ子 様	3,000円
●涌谷町芸能ボランティアの会 様	30,000円
●アルプス電気株式会社 アルプス電気労働委員会わくや支部 様	100,000円

寄付物品

●涌谷町立小里小学校 様	車いす
●折り紙の会「折り鶴」 様	はし袋
●1区 佐藤 春子 様	黒豆、青豆

生活相談所

日常生活で心配事、
困りごとがありませんか?
お気軽にご相談ください。

秘密厳守!

「生活が苦しい」「介護に疲れた」
「認知症ってどうすればいいの」
「子育てが不安」
「誰にも相談できない」

開設月日：平成28年1月27日(水)、
2月24日(水)、3月23日(水)

相談時間：午後1時～午後3時

相談場所：ゆらいふ相談室

※相談日以外にも、ご相談をお受けします。
問合せ ☎43-6661(担当：総務企画課)

編集後記

皆様、新しい年をお元気で迎えられたでしょうか?いつも「福祉わくや」を作るときに、こんなにも社協って赤ちゃんからお年寄りまでを考え、いろいろな活動を行っているのだなぁ・・・と改めて驚きます。地域の福祉、子どもやお年寄りの福祉、ボランティア活動、生活相談、「社協」という巾着袋にはいっぱい事業が入っています。「福祉わくや」は、年4回発行の広報誌。今年も巾着袋からいっぱいの事業を、皆様へ「福祉わくや」を通してお知らせしていきたいと思っております。

広報委員

ボランティアグループ 「あけぼの会」

朗読テープの貸し出し

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障がい者の方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。ボランティアグループ「あけぼの会」
問合せ ☎43-6661(担当：地域福祉課)